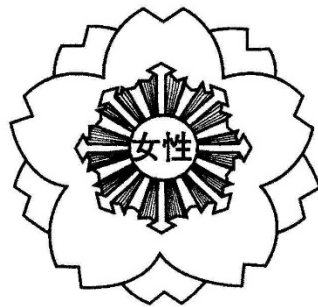


第 26 回全国女性消防操法大会実施要綱



消 防 庁
(公財) 日本消防協会

第26回全国女性消防操法大会実施要綱

1 目 的

女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的とする。

2 主 催

消防庁、公益財団法人日本消防協会

3 協 力

神奈川県、横浜市、公益財団法人神奈川県消防協会

4 日 時

令和7年10月28日（火） 9時00分～15時30分（雨天決行）

5 会 場

横浜赤レンガ倉庫イベント広場

神奈川県横浜市中区新港一丁目1番

6 役 員

大会運営委員長	日本消防協会理事長
大会運営副委員長	消防庁消防大学校長
〃	日本消防協会常務理事
大会運営委員	消防庁総務課長
〃	消防庁国民保護・防災部地域防災室長
〃	消防庁消防大学副校長
〃	横浜市消防局長
〃	神奈川県消防協会会長
〃	日本防火・防災協会振興部長
〃	横浜市中消防団副団長
審査長	消防庁消防大学校長
副審査長	消防庁国民保護・防災部地域防災室長
審査員	日本消防協会の指名する者

7 大会次第

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 選手団整列 | —— 8 : 57 |
| (2) 日本消防協会旗入場 | —— 9 : 00 |
| (3) 開会式 | |
| ア 開会宣言 | —— 9 : 03 |
| イ 国旗掲揚 | |
| ウ 優勝旗返還 | |
| エ 主催者挨拶 | |
| オ 来賓祝辞 | |
| カ 歓迎の辞 | |
| キ 競技上の注意 | |
| ク 選手宣誓 | |
| (4) 選手団退場 | —— 9 : 39 |
| (5) 操法開始 | —— 9 : 50 |
| (6) 休憩 | —— 12 : 00～12 : 30 |
| (7) 操法終了 | —— 14 : 20 |
| (8) アトラクション | |
| (9) 表彰式 | —— 14 : 50 |
| ア 審査結果発表 | |
| イ 表彰 | |
| (10) 閉会式 | —— 15 : 20 |
| ア 万歳三唱 | |
| イ 国旗降納 | |
| ウ 閉会宣言 | |
| (11) 解散 | —— 15 : 30 |

8 消防操法種別

- (1) 軽可搬ポンプ操法とする。
- (2) 5人操法とする。
- (3) 手びろめによる二重巻ホース1線延長とする（ホース3本）。
- (4) 標的を使用し放水を行う。
- (5) 収納は省略する。

9 操法要領

別に定める「第26回全国女性消防操法大会操法実施要領」による。

10 競技方法

- (1) 実際にポンプを運用し放水する。
- (2) 2コースを設定、2隊が同時に実施する。
- (3) 時間測定は、指揮者の「操作始め」の「め」から有効放水により標的2個が倒れるまでとする。なお、各隊の操法タイム、総合得点を公表する。
- (4) 標的については、当日の気象状況により、距離の短縮等を行うこともある。

11 出場隊

都道府県ごとに1隊7名とする。（出場順序は別表1のとおり）

12 出場資格

都道府県消防協会が推薦する女性消防隊（消防団を含む。）である者

13 出場隊の服装

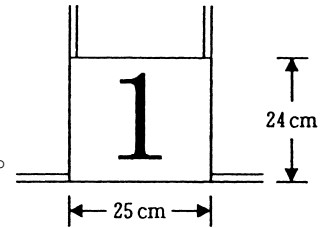
- (1) 日本消防協会が交付した活動服を着用すること。
- (2) 手袋、ヘルメットを着用すること。
- (3) 規定のゼッケンを着けること。

ア 大きさ（基準）は、横25cm、縦24cmとする。

イ 生地は白色、黄色又は橙色のいずれか一色とする。

ウ 文字及び数字（アラビア数字）は、黒色とする。

エ ゼッケンには文字以外のものを一切表示しないこと。



- (4) 靴のデザイン等は特に定めないが、各隊で統一したものを使用すること。

14 使用機械器具

D－I 級軽可搬ポンプ一式（日本消防協会仕様の二輪台車付）

15 審査及び表彰

別に定める「第26回全国女性消防操法大会審査要領」により審査し、その結果に基づき次のとおり表彰する。（受賞要領は別表2のとおり）

- (1) 優勝1隊

ア 内閣総理大臣賞（優勝旗は持ち廻り）

賞状及び優勝旗を授与し表彰する。

イ 日本消防協会会長賞

賞状、優勝旗及びメダルを授与し表彰する。

- (2) 準優勝2隊

ア 消防庁長官賞

賞状及び準優勝旗を授与し表彰する。

イ 日本消防協会会長賞

賞状、準優勝楯及びメダルを授与し表彰する。

(3) 優秀賞 3 隊

賞状、優秀賞楯及びメダルを授与し表彰する。

(4) 優良賞 6 隊

賞状及び優良賞楯を授与し表彰する。

(5) (1) から (4) 以外の隊

入賞とし、表彰する。

(6) 優秀選手賞

賞状及び優秀選手賞楯を授与し表彰する。

(7) 参 加 賞

出場全隊員に授与する。

16 会場受付

- (1) 出場選手の受付は、大会前日の10時00分から12時30分までの間、「出場隊受付」(別図1の①参照)において行うので、出場隊の代表者は所定の手続を済ませること。(詳細は別途通知する。)

- (2) 来賓等の受付は、大会当日の7時30分から「来賓受付」(別図2の②参照)で行う。

17 応援観覧席

- (1) 都道府県応援専用席として段床席及び立見エリアを設け、さらにその前に出場隊応援席を各コース30席ずつ設ける。(別図2の⑩、⑪、⑫参照)

なお、大会会場の都道府県専用席の割当は、別途通知する。

- (2) 都道府県応援専用席の他、一般の方も観覧できるエリアとして、一般立見エ

リア及び海側に大型ビジョン一般観覧エリアを設ける。(別図2の⑭、⑮参照)

18 ポンプ検査、ホース検査及び事前練習

大会前日、ポンプ検査場、ホース検査場及び事前練習場で行う各隊の検査、事前練習時間は別表3のとおり指定するので、指定の場所・時間以外での練習等は行わないこと。(別図1の③、④、⑤参照)

19 事前準備及び出場準備(詳細は別途通知)

- (1) 大会当日の事前準備時間は7時30分から8時20分までとする。
- (2) 大会当日における出場隊テント(ポンプ保管場所)から出場隊準備エリアへの軽可搬ポンプの移動は、1組目から12組目までの隊は、事前準備時間内に出場隊準備エリアに移動、13組目から22組目までは出場隊テント(ポンプ保管場所)にて事前準備を行い、午前の競技が終了後に移動する。(別図2参照)
- (3) 1、2組目に出場する隊は、開会式前に係員の指示に従い所定位置で出場準備を行うこと。
- (4) 3組目以降に出場する隊は、各コース次々隊待機エリアの待機隊が次隊待機エリアに移動したら、次々隊待機エリアに移動し、係員の指示に従い出場準備を行うこと。

20 開会・閉会式及び表彰式要領(詳細は別途通知)

- (1) 開会式については、8時50分までに総括指揮者及び優勝旗返還者は本部テントに待機し、出場隊は出場隊応援席(別図2の⑫参照)前に、隊ごとに待機すること。なお、ゼッケン及びヘルメットの着用はしないこととする。(アポロキャップ着用)
- (2) 8時55分の選手集合のアナウンス後、駆け足ですみやかに別図3に示す「開

会式の隊形」に整列する。

- (3) 退場時は総括指揮者の号令に従い、駆け足ですみやかに出場隊テント（ポンプ保管場所）（別図 2 の⑧参照）前まで退場する。
- (4) 閉会式の隊形は開会式の隊形と同様とする。全隊の操法が終了し、アトラクションが終了後、すみやかに出場隊は出場隊応援席（別図 2 の⑫参照）前に、隊ごとに待機すること。なお、ゼッケン及びヘルメットの着用はしないこととする。（アポロキャップ着用）
- (5) 選手集合のアナウンス後、駆け足ですみやかに別図 3 に示す隊形に整列する。

21 更衣場所

大会前日及び当日ともに、赤レンガ倉庫 1 号館に選手更衣室を設ける。

なお、選手更衣室の割当は、別途通知する。

22 会場への交通

(1) 交通案内

ア 会場へは、別図 4 及び別図 5 の交通案内図を参照のうえ来場すること。

イ 駐車場に駐車できる車両は、別途駐車票を交付する車両のみとなるので、努めて鉄道等の公共交通機関を利用し来場すること。

(2) 駐車場

別途通知する。

第 26 回全国女性消防操法大会 出場順序表

出場順	第 1 コー ス (本 部 席 側)	第 2 コー ス (応 援 席 側)
1	富 山 県	神 奈 川 県
2	徳 島 県	鹿 児 島 県
3	茨 城 県	岩 手 県
4	長 崎 県	和 歌 山 県
5	群 馬 県	高 知 県
6	千 葉 県	秋 田 県
7	静 岡 県	岐 阜 県
8	広 島 県	鳥 取 県
9	熊 本 県	奈 良 県
10	京 都 府	宮 城 県
11	三 重 県	山 梨 県
12	福 井 県	岡 山 県
13	愛 媛 県	山 形 県
14	北 海 道	長 野 県
15	大 分 県	兵 庫 県
16	大 阪 府	山 口 県
17	栃 木 県	埼 玉 県
18	石 川 県	宮 崎 県
19	福 島 県	沖 縄 県
20	東 京 都	愛 知 県
21	青 森 県	滋 賀 県
22	福 岡 県	新 潟 県

入 賞 隊 受 賞 要 領

		優勝（1 隊） 7 名		準優勝（2 隊） 14 名		優秀賞（3 隊） 21 名		優良賞（6 隊） 42 名		優秀選手賞 10 名	
隊 形	<div>表 彰 台</div> <div>○ ○ ○ ○ ○ ● ◎ 補 4 3 2 1 指 隊 助 番 番 番 番 揮 者 員 員 員 員 者 長</div>		<div>表 彰 台</div> <div>○○○○○●◎ ○○○○○●◎ </div>		<div>表 彰 台</div> <div>◎ ◎ ◎ ● ● ● ○</div>		<div>表 彰 台</div> <div>◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ● ● ● ● ● ● ○</div>		<div>表 彰 台</div> <div>○ ○ ○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ● 4 3 2 1 指 番 番 番 番 揮 員 員 員 員 者</div>		
	総 理 大 臣 賞	駆け足で前へ進み表彰台前に横隊に整列する。 隊長が「頭～中」「なおいれ」と号令し、2 名が壇上へ進み、賞状、優勝旗を受領し降壇する。 再び「頭～中」「なおいれ」と号令する。		長 官 賞	駆け足で前へ進み表彰台前に横隊に整列する。 右翼の隊長が「頭～中」「なおいれ」と号令し、2 名が壇上へ進み、賞状、楯を受領し降壇する。 再び「頭～中」「なおいれ」と号令する。		会 長 賞	駆け足で前に進み表彰台前に縦列に整列する。 各受賞隊の右翼に位置する隊長が「頭～中」「なおいれ」と号令し、優秀賞は 2 名が壇上に進み賞状、楯、メダルを、優良賞は 1 名が壇上に進み賞状、楯を受領し降壇する。 再び「頭～中」「なおいれ」と号令する。		駆け足で前へ進み表彰台前に 2 列横隊（前列 1 コース、後列 2 コース）に整列する。 前列指揮者が「頭～中」「なおいれ」と号令し、操作員ごとに 2 名ずつ壇上へ進み、賞状、楯を受領し降壇後、元の位置へ進む。 再び「頭～中」「なおいれ」と号令する。	
要	会 長 賞	上記の要領で 3 名が壇上に進み賞状、優勝旗、メダルを受領し降壇する。		会 長 賞	上記の要領で 3 名が壇上に進み賞状、楯、メダルを受領し降壇する。						
号 令		「右向け～右」「かけ足～進め」				「まわれ～右」「かけ足～進め」				「右向け～右」「かけ足～進め」	

※ 表彰台に上がり、表彰状等を受賞する時は、敬礼等をする必要はない。

※ 準優勝、優秀賞及び優良賞の 1 隊目は全文読み上げ、他の受賞隊は隊名まで読み上げ、本文は省略する。

※ 優秀選手賞は指揮者の 1 人目は全文読み上げ、他の受賞者は氏名まで読み上げ、本文は省略する。

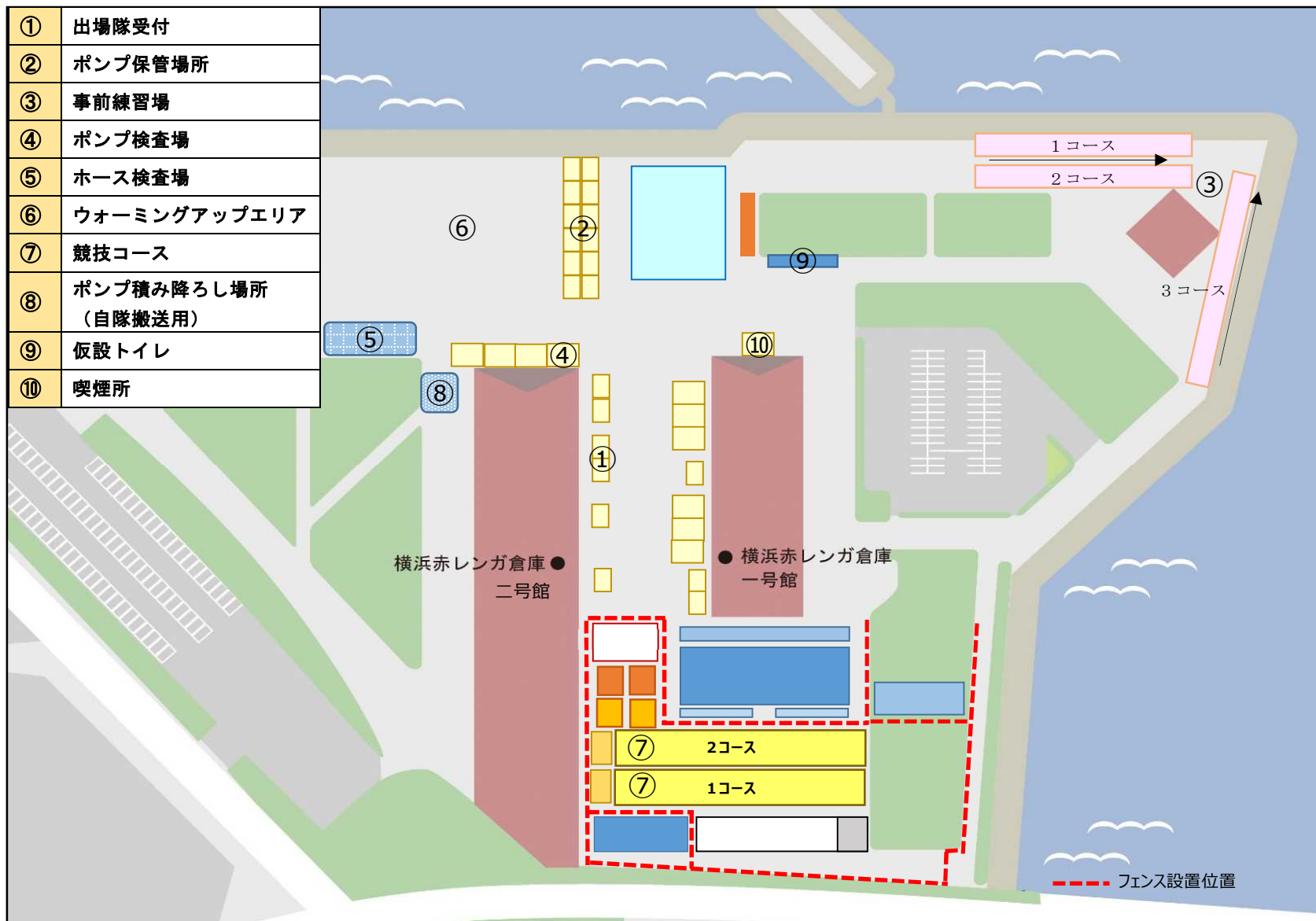
検査・事前練習時間指定表（大会前日）

（エンジン調整・事前練習）

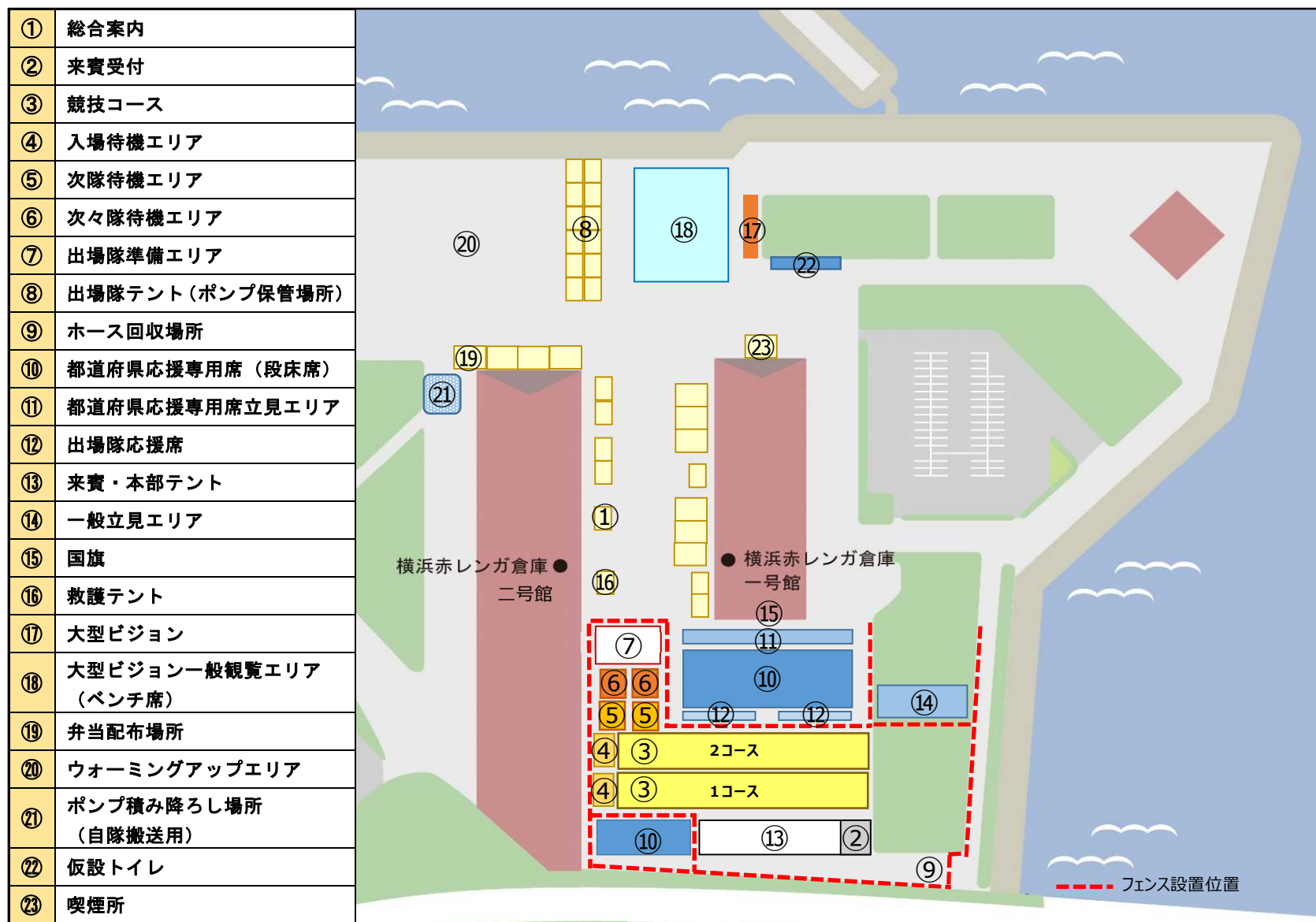
事前練習 開始時間	第 1 コース	第 2 コース	第 3 コース	ポンプ検査 時間	ホース検査 時間
10：00	富 山 県	神 奈 川 県	徳 島 県	11:00 ～ 12:00	10:00 ～ 12:00
10：20	鹿 児 島 県	茨 城 県	岩 手 県		
10：40	長 崎 県	和 歌 山 県	群 馬 県		
11：00	高 知 県	千 葉 県	秋 田 県	12:00 ～ 13:00	
11：20	静 岡 県	岐 阜 県	広 島 県		
11：40	鳥 取 県	熊 本 県	奈 良 県		
12：00	京 都 府	宮 城 県	三 重 県	10:00 ～ 11:00	
12：20	山 梨 県	福 井 県	岡 山 県		
12：40	愛 媛 県	山 形 県	北 海 道		
13：00	長 野 県	大 分 県	兵 庫 県	14:00 ～ 15:00	12:20 ～ 14:00
13：20	大 阪 府	山 口 県	栃 木 県		
13：40	埼 玉 県	石 川 県	宮 崎 県		
14：00	福 島 県	沖 縄 県	東 京 都	13:00 ～ 14:00	
14：20	愛 知 県	青 森 県	滋 賀 県		
14：40	福 岡 県	新 潟 県			
15：00	終了時刻				

- 注 1 大会本番コースでの事前練習は禁止とする。
- 2 事前練習会場でのエンジン始動は禁止とする。
- 3 事前練習は、空操法とする（放水禁止）。
- 4 ポンプ検査は、指定時間内に事前検査場所においてポンプメーカー毎に検査を行う。
- 5 訓練時間は厳守し、次の開始時間には撤収を完了しておくこと。

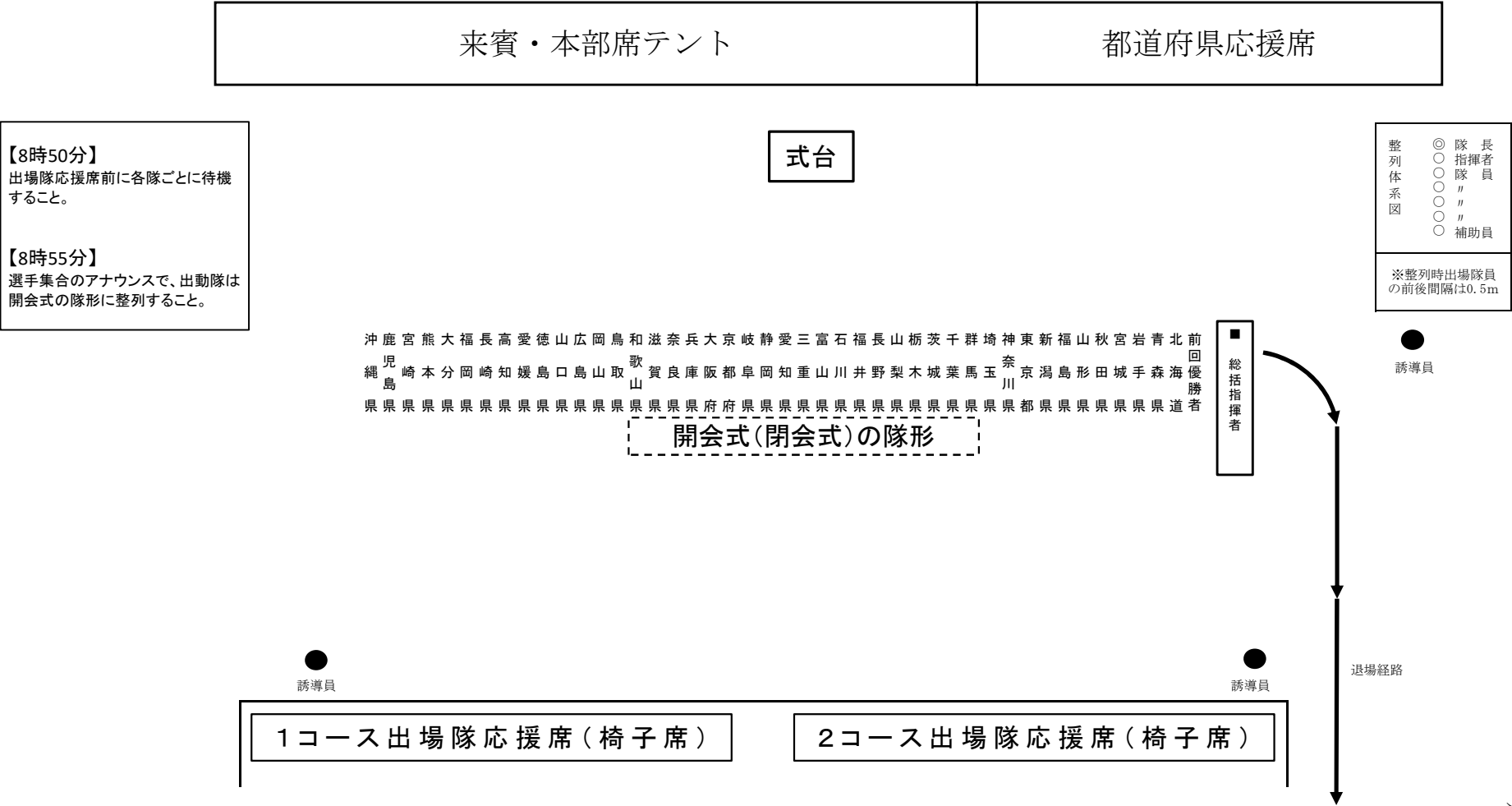
会 場（前日）案 内 図

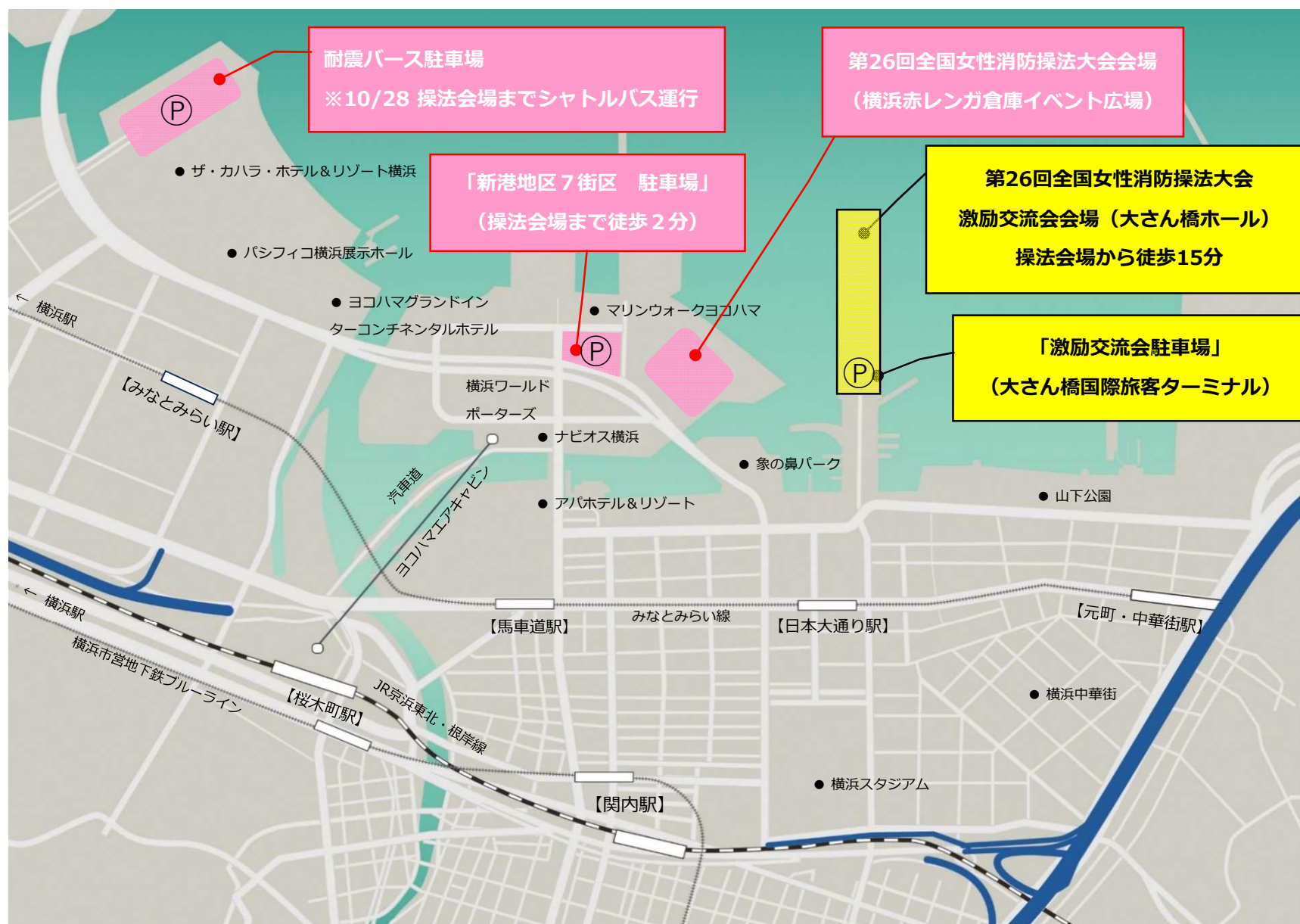


会場(当日)案内図



集合要領及び開会式(閉会式)隊形図





交通案内図



- ・JR「桜木町駅」より自動車経由で徒歩約15分
- ・みなとみらい線「馬車道駅」より徒歩約6分